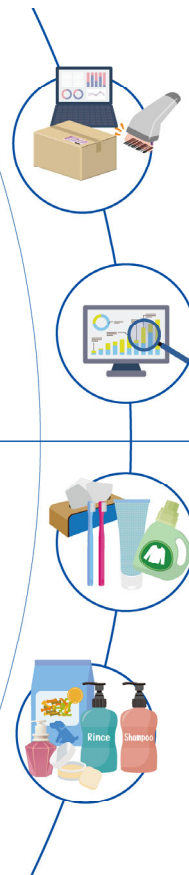


第40回

定時株主総会

2025年10月24日

株式会社 **フラネット** 地震等が発生した際は、係員の指示に従って行動してください



報告事項

第40期(2024年8月1日から2025年7月31日まで)
事業報告及び計算書類報告の件

決議事項

- | | |
|-------|---------------------------|
| 第1号議案 | 剰余金の処分の件 |
| 第2号議案 | 取締役(監査等委員である取締役を除く)7名選任の件 |
| 第3号議案 | 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件 |
| 第4号議案 | 役員賞与支給の件 |

監査報告

第40期 事業報告

■ 事業の経過及び成果

■ 日本経済

≫ 雇用や所得環境の改善

≫ 個人消費の持ち直し



緩やかな景気回復

■ 事業の経過及び成果

≫ 米国の通商政策の動向

≫ 地政学リスクの拡大

≫ 国内の物価高騰が継続



依然として不透明な状況

■ 事業の経過及び成果

└ 一般消費財流通業界

≫ 物価高による消費者の買い控え

他方で

≫ 外出機会の増加やインバウンド需要の回復



化粧品、OTC医薬品に加え
日用品では衣料用洗剤が好調

■ 事業の経過及び成果

≫ ペット関連商品の売れ行き



堅 調

■ 事業の経過及び成果

売上高	3,162,307千円	前期比 ▲0.3%
営業利益	564,043千円	前期比 ▲12.2%
経常利益	592,602千円	前期比 ▲14.2%
当期純利益	400,784千円	前期比 ▲12.5%

■ 事業部門別の売上高

事業部門

基幹系サービス	EDI事業
情報系サービス	データベース事業

■ 事業部門別の売上高

EDI事業

日用品・化粧品
ペットフード・ペット用品
OTC医薬品

+

健康食品
園芸 など

「基幹EDI」「販売レポートサービス」の営業活動に注力

利用企業数、接続本数ともに増加

■ 事業部門別の売上高

EDI事業

≫ 商品アイテム数削減

≫ 商品の大容量化

データ量は微減

持続可能な物流環境の実現を目指す
「ロジスティクスEDI」



利用企業数、接続本数ともに増加

今秋にサービス提供開始予定
「返品ワークフローシステム・サービス」



開発を推進

売上高は前期比 ▲0.4%

》 各データベースサービスの付加価値向上のための
取り組みを継続

取引先データベース

商品データベース

さらなる活用可能性に向けた調査を継続

売上高は前期比 +0.5%

設備投資の状況 資金調達の状況

お手元の書類の
6ページに記載のとおりでございます。

■ 対処すべき課題

■ 我が国の経済の先行き

≫ インバウンド需要の拡大

≫ 所得の増加による個人消費の持ち直しに期待

■ 対処すべき課題

≫ 原材料や燃料費の高騰による物価上昇

≫ 米国の通商政策の動向による経済への影響



先行きについては不透明な状況が続く

■ 対処すべき課題

■ 一般消費財流通業界

消費者側

≫ 生活者の買い控え

購買行動が大きく変化

■ 対処すべき課題

業界各社

≫ 事業構造の変革

≫ IT化・DX推進

業務の合理化・効率化の推進

■ 対処すべき課題

≫ 人手不足やコスト高騰などに対応

≫ DXによる効率化ニーズがさらに高まる

環境の変化への的確な対応が求められる

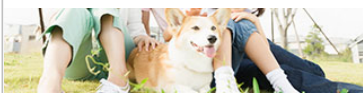
■ 対処すべき課題

EDI事業

① EDI事業の横展開と深掘り

横展開

ペットフード・
ペット用品業界



日用品・化粧品業界



OTC医薬品業界
(一般用医薬品)



健康食品や園芸などの隣接する各業界に展開

流通機構のより一層の機能強化を促進

■ 対処すべき課題

EDI事業

① EDI事業の横展開と深掘り

深掘り

データ種は全20種類

既存ユーザーに対して各データ種の
活用メリットをより積極的に訴求

利用拡大を図る

■ 対処すべき課題

EDI事業

② ロジスティクスEDIの推進

≫ 一般消費財流通業界の持続可能な物流環境の実現



- 入荷業務の効率化
- 待機時間の削減
- 検品の簡素化
- 伝票レス

ロジスティクスEDIの普及

■ 対処すべき課題

データベース事業

③ データベースサービスの拡充・利用促進

取引先データベース

- ▶▶ 全国の小売業店舗・卸売業拠点約51万件の情報を常にメンテナンス
- ▶▶ メーカーがEDIとともに利用するマーケティング情報として有効に活用できるよう利用価値を向上

営業活動等を通じて一層の利用拡大を図る

■ 対処すべき課題

データベース事業

③ データベースサービスの拡充・利用促進

商品データベース

- ▶▶ 商品の規格情報・商品画像情報等の一層の拡充
- ▶▶ 登録推進・利用促進を図る

■ 対処すべき課題

④ 新規サービスの創出

≫ 開発リソースの強化

≫ 事業化プロセスの高速化

■ 対処すべき課題

④ 新規サービスの創出

新たに提供を開始する
「返品ワークフローシステム・サービス」

≫ メーカーと卸売業の間の返品に関する
調整業務をWebサービス化

業務負荷の軽減

■ 対処すべき課題

④ 新規サービスの創出

当社のデータインフラとしての
強みを生かし、情報を活用する



一般消費財流通の業務課題の解決を目指す
新サービスの開発を進める

財産及び損益の状況、
重要な親会社及び子会社の状況、
主要な事業内容、事業所、従業員の状況、
業務の適正を確保するための体制及び
運用状況

お手元の書類の8ページから20ページに記載のとおりで
ございます。

計算書類の報告

貸借対照表

(単位:千円)							
科 目		金 額		科 目		金 額	
資 産 の 部				負 債 の 部			
流 動 資 産		3,487,572		流 動 負 債		506,510	
				固 定 負 債		511,084	
固 定 資 産		3,165,709		負 債 合 計		1,017,594	
				純 資 産 の 部			
有 形 固 定 資 産		11,342		株 主 資 本		5,025,555	
				資 本 金		436,100	
無 形 固 定 資 産		771,097		資 本 剰 余 金		127,240	
				利 益 剰 余 金		4,464,149	
前期比				+96,936千円(+1.5%)			
資 産 合 計		6,653,282		純 資 産 合 計		5,035,688	
				負 債 純 資 産 合 計		6,653,282	

貸借対照表

(単位:千円)			
科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	3,487,572	流動負債	506,510
		固定負債	511,084
前期比 +268,042千円(+8.3%)			
有形固定資産	11,342	株主資本	5,025,555
		資本剰余金	436,100
無形固定資産	771,097	資本剰余金	127,240
		利益剰余金	4,464,149
投資その他の資産	2,383,270	自己株式	△1,934
		評価・換算差額等	610,133
		純資産合計	5,635,688
資産合計	6,653,282	負債純資産合計	6,653,282

貸借対照表

(単位:千円)			
科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	3,487,572	流動負債	506,510
		固定負債	511,084
固定資産	3,165,709	負債合計	1,017,594
		純資産の部	
前期比 ▲171,105千円(▲5.1%)			
無形固定資産	771,097	資本剰余金	127,240
		利益剰余金	4,464,149
投資その他の資産	2,383,270	自己株式	△1,934
		評価・換算差額等	610,133
		純資産合計	5,635,688
資産合計	6,653,282	負債純資産合計	6,653,282

貸借対照表

(単位:千円)			
科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	3,487,572	流動負債	506,510
		固定負債	511,084
固定資産	3,165,709	負債合計	1,017,594
純資産の部			
前期比 ▲112,720千円 (▲10.0%)			
無形固定資産	771,097	資本剰余金	127,240
		利益剰余金	4,464,149
投資その他の資産	2,383,270	自己株式	△1,934
		評価・換算差額等	610,133
		純資産合計	5,635,688
資産合計	6,653,282	負債純資産合計	6,653,282

貸借対照表

(単位:千円)			
科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	3,487,572	流動負債	506,510
		固定負債	511,084
固定資産	3,165,709	負債合計	1,017,594
純資産の部			
前期比 ▲72,007千円 (▲14.2%)			
有形固定資産	11,342	株主資本	5,025,555
		資本剰余金	436,100
無形固定資産	771,097	資本剰余金	127,240
		利益剰余金	4,464,149
投資その他の資産	2,383,270	自己株式	△1,934
		評価・換算差額等	610,133
		純資産合計	5,635,688
資産合計	6,653,282	負債純資産合計	6,653,282

貸借対照表

(単位:千円)			
科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	3,487,572	流動負債	506,510
		固定負債	511,084
前期比 ▲40,712千円 (▲7.4%)			
有形固定資産		資本	436,100
無形固定資産	771,097	資本剰余金	127,240
		利益剰余金	4,464,149
投資その他の資産	2,383,270	自己株式	△1,934
		評価・換算差額等	610,133
		純資産合計	5,635,688
資産合計	6,653,282	負債純資産合計	6,653,282

貸借対照表

(単位:千円)			
科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	3,487,572	流動負債	506,510
		固定負債	511,084
固定資産	3,165,709	負債合計	1,017,594
		純資産の部	
有形固定資産	11,342	株主資本	5,025,555
		資本	436,100
		資本剰余金	127,240
前期比 +209,656千円 (+3.9%)			
		純資産合計	5,635,688
資産合計	6,653,282	負債純資産合計	6,653,282

損益計算書

お手元の書類の
22ページに記載のとおりでございます。

株主資本等変動計算書 個別注記表

お手元の書類の
23ページから31ページに
記載のとおりでございます。

計算書類に関する 会計監査人 及び 監査等委員会の監査結果

お手元の書類の
32ページから34ページに
記載のとおりでございます。

■ 議事進行へのご協力をお願い

株主さまからのご質問は
決議事項のご説明後に
まとめてお受けいたします。



決議事項
説明



質疑応答



決議事項
採決

■ 議案の上程

第1号議案

剰余金の処分の件

■ 議案の上程

第2号議案

取締役(監査等委員である 取締役を除く)7名選任の件

■ 議案の上程

第3号議案

**補欠の監査等委員である
取締役1名選任の件**

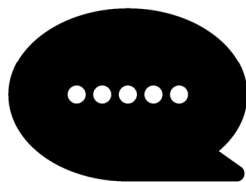
■ 議案の上程

第4号議案

役員賞与支給の件

■ 質問及び審議

ご発言に際して



議長が指名
いたしましたら
マイクが届くまで
お待ちください。

はじめに
①出席票番号
②お名前
をお知らせください。

要点を簡潔に
ご発言ください。

※ご質問はおひとり様
1回につき1件で
お願いいたします

議案の採決

議案の採決

第1号議案

剰余金の処分の件

議案の採決

第2号議案

取締役(監査等委員である 取締役を除く)7名選任の件

議案の採決

第3号議案

補欠の監査等委員である
取締役1名選任の件

議案の採決

第4号議案

役員賞与支給の件

本日の会議の目的事項は
すべて終了いたしました。

これをもちまして
第40回定時株主総会は
閉会いたします。

■ 新任取締役の紹介

ひき だ しゅう ぞう
正田 秀三 氏

株主の皆様のご健勝をお祈り申し上げますとともに、
当社に対しまして、より一層のご支援、ご鞭撻を賜り
ますようお願い申し上げます。

本日はありがとうございました。